

内科専門外来開始

内科の午後の診察時間(14:30～16:00)に予約制の専門外来を開始しました。詳細はHPをご覧ください。受診をご希望の方は、受診前に必ずお電話で希望する外来をお伝えください。
※担当医の状況により休診となる場合があります。

腎臓・腎のう胞外来	火曜日
治療抵抗性高血圧外来	水曜日
女性医師による乳腺外来	金曜日
ワクチン外来 ※新型コロナワクチンは、対象になりません	金曜日

患者さん向け病院スマホアプリ「旭東 San」を7月公開予定!

このアプリで、受診時の外来診察待ち状況をどこにいても確認することが可能になります。来院前の問診、ドック健診の予約にもワンクリックでアクセスが可能です。また疾患と健康に関する情報、院内マップやアート作品の案内など待ち時間を有効活用できる機能も搭載していますので、ぜひご利用ください。



催しのご案内

新型コロナウイルスの感染拡大にともない、9月末までの催しの開催を中止しています。10月以降の催し開催については、決まり次第当院のホームページにてお知らせします。

YouTubeを見て運動しましょう

腰の痛みには、様々な種類があります。病院受診をした方が良い腰痛のポイントと腰痛予防の筋力トレーニング方法の解説動画を配信しました。
当院のYouTubeチャンネルでは、転倒予防を中心に健康情報を楽しく学べる動画を毎月配信しています。是非ご覧ください。



◀ YouTubeにアクセスします

病院統計 (2020年1月～12月)

外来患者延数	74,526人	紹介率	60.7%
入院患者延数	59,643人	逆紹介率	87.8%
新入院患者数	4,105人	救急患者搬入件数	1,780件
退院患者数	4,109人	脳神経外科手術件数	237件
平均在院日数	12.0日	整形外科手術件数	2,132件

特集

これでわかる! パーキンソン病の今



Model : 左から若林さん(メディカルクラーク)
北山医師(脳神経内科)・片山さん(メディカルクラーク)

Photographer : Yudai Ogino



脳・神経・運動器疾患の総合的専門病院
臨床研修指定病院(協力型)

脳神経外科、整形外科、脳神経内科、リハビリテーション科、内科、循環器内科、麻酔科、放射線科、リウマチ科、形成外科、泌尿器科、皮膚科、救急科、健康センター、脳卒中センター、サイバーナイフセンター、PET・RIセンター、スポーツ・関節外科センター

〒703-8265 岡山県岡山市中区倉田 567-1
Tel. 086-276-3231 Fax. 086-274-1028
https://www.kyokuto.or.jp



診療時間 午前 9:00～12:00 (8:30受付開始)

午後 14:30～16:00

	月	火	水	木	金	土
午前	○	○	○	○	○	○
午後	○	○	○	△	○	△

休 診 木曜午後 / 土曜午後 / 日曜 / 祝日
(但し、急患はこの限りではありません)

あとがき

パーキンソン病に対する治療法は進歩し、専門医の個々の患者さんにそった長期にわたる治療が必要です。当院が少しでも手助けになることを願っています。

院長 吉岡純二

発行／公益財団法人操風会 岡山旭東病院
企画・編集／岡山旭東病院 広報委員会

キラリ☆元気さん

看護部 外来 看護師 副主任
藤原 由佳

そこが知りたい

薬の管理で悩んでいる方へ
薬剤師の取り組み

知っ得情報

皆さんのご意見をお聞かせください

経営理念
一、安心して、生命をゆだねられる病院
一、快適な、人間味のある温かい医療と療養環境を備えた病院
一、他の医療機関・福祉施設と共に良い医療を支える病院
一、職員ひとりひとりが幸せで、やりがいのある病院

ライフサプリ

食事で免疫力アップ

きょうとう連携のわ

原尾島クリニック

キョクトウニュース

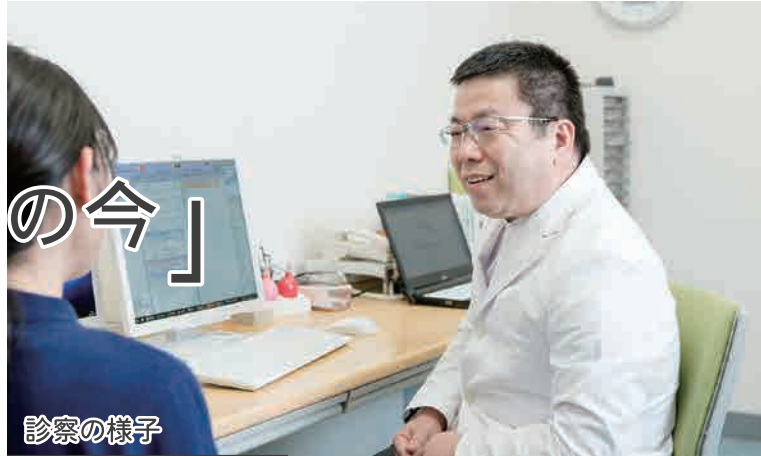
内科専門外来開始

患者さん向け病院スマホアプリ
「旭東 San」を7月公開予定!

特集「これでわかる！パーキンソン病の今」

パーキンソン病は、「中脳にあるドーパミンをつくる神経細胞が変性・脱落することによって生じる神経変性疾患」といえますが、その根本的な原因は未だ解明されていません。

発症前から、便秘や睡眠時行動異常症、うつのような精神症状が出ることがあります。その後、①動作緩慢②振戦③筋強剛④姿勢反射障害などの運動症状が発症し、パーキンソン病と診断され、徐々に症状が進行することが多いです。発病数は年々増加傾向で、10万人あたり150～200人といわれています。60歳～80歳に多く、今後さらに増加すると思われます。



診察の様子



パーキンソン病健康教室をYouTubeにてWEB配信しています

講演1「パーキンソン病の治療」
講演2「パーキンソン病～運動の大切さ～」
講演3「自宅でできるパーキンソン病体操」

YouTubeにアクセス ▶



PCで視聴する場合はYouTubeにて

岡山旭東病院 パーキンソン病 検索

代表的な症状

① 動作緩慢

- ・動作が遅かったり
少なかったりする
- ・すくみ足になる
- ・声が小さくなる



② 振戦

- ・手足やあごなどが
ふるえる
- ・睡眠中はおさまるが
目が覚めるとふるえる



③ 筋強剛

- ・手足の曲げ伸ばし
に抵抗感がある
- ・顔の筋肉が
こわばる



④ 姿勢反射障害

- ・身体のバランスが
とりにくい
- ・歩行時に止まったり
方向転換するのが難しい



診断・検査

診断は 左図の運動症状のうち、特に①動作緩慢が認められることを基本とします。またパーキンソン病と症状が同じでも原因が異なるパーキンソン症候群の可能性の排除を、頭部MRI、血液検査などでおこないます。さらに比較的特異な検査として、当院ではダットスペクト(脳の検査)、MIBG心筋シンチグラフィ(心臓の交感神経の検査)が可能です。

内服薬の影響により、パーキンソン病のような症状を引き起こしている可能性もあります。抗精神病薬、うつや不安状態に使用される薬や、胃腸薬は特に注意が必要です。

基本的な治療方法

治療は、脳内のドーパミンをいかに補充するかが中心になります。多種多様の内服薬の中から、年齢、症状に応じて薬を選び、ドーパミン濃度を一定に保つようにするという考えが一般的です。また運動機能を低下させないために、リハビリなどの運動療法も非常に重要です。当院ではパーキンソン病の患者さんに対して、適宜リハビリテーション入院をおすすめしています。

進行期になると、薬が効いている時間は症状が良くなるものの、薬が切れると悪くなるウェアリングオフと呼ばれる状態になったり、自分の意思とは無関係に、体が不規則にクネクネ動いてしまうジスキネジアなど様々な運動合併症が出現したりすることがあります。これらの運動合併症が出てきて、内服薬での治療が難しくなった場合、右図の「持続レボドパカルビドパ経腸療法」「深部脳刺激療法(DBS)」「MRガイド下集束超音波療法(FUS)」などを検討します。

進行期の治療方法

持続レボドパカルビドパ経腸療法

薬剤を胃ろうから小腸へ持続的に投与することにより、レボドパの安定した吸収が可能となります。



深部脳刺激療法(DBS)

胸の前部に埋め込んだ発生器から電極を介してに脳に電気刺激を与えることにより、症状を改善します。



MRガイド下集束超音波療法(FUS)

MRI画像を用いて、脳の異常のある部分を超音波で熱凝固することでふるえを改善します。

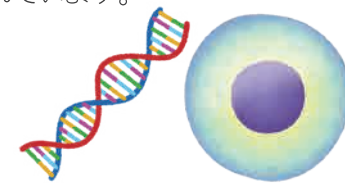


いずれの治療方法も全ての患者さんに向いているわけではありません。適応については、主治医と十分に検討する必要があります。

今後の治療の可能性

近年、パーキンソン病の進行そのものを抑制できるような治療法である遺伝子治療、細胞移植(iPS)の研究が世界中で進められています。

基本的には、ドーパミンを脳内で産生する遺伝子、または細胞を導入する治療です。特にiPS細胞の治療は最近臨床試験が始まったばかりですが、将来性のある治療として期待されています。



おわりに

パーキンソン病の治療の基本は薬物療法ですが、リハビリや、環境整備などを合わせたトータルコーディネートが重要です。またパーキンソン病の経過は長い場合、どのような医療を望むのか、病気とともにどのように生きていくのかなど、独りだけではなく家族などで考えることも大切です。

当院では脳神経内科医をはじめとする医療スタッフが、少しでも患者さんやご家族が自分らしい人生を送れるようお手伝いします。病気、治療のことだけでなく、何か気になったこと、ご不明な点がありましたら、いつでも相談に来てください。



看護部
外来 副主任

ふじわら ゆか
藤原 由佳

診察室で働く看護師に、限られた診察時間の中でどのようなサポートをおこなっているか伺いました。

Q 主な業務

A 外来看護師として、各科の診療補助、処置、検査の介助をおこなっています。脳神経外科、脳神経内科の患者さんは在宅療養の方が多いため、在宅療養指導などもおこなっています。本人・ご家族の相談にのり、自宅で安定した療養生活が送れるよう、その人に合わせたサポートもおこなっています。



Q 心がけていること

A 事前に問診票や紹介状を確認し、検査内容や入院の予測を立てておくなど、限られた診察時間の中で、医師がスムーズに診察できる環境を整えられるよう心がけています。また、患者さんと医師の橋渡しとして、医師へ確認や質問を投げかけ、患者さんが症状や治療内容を理解し、納得ができるようサポートしています。

Q 看護師になったきっかけややりがい

A 祖父が入院を繰り返していた中学生の時、看護師の仕事に感銘をうけた家族から薦められたことがきっかけで看護師になりました。患者さんの困っていることや訴えていることに対して、同じ目線に立って考え、解決につなげられた時は嬉しく、やりがいを感じます。

Q 患者さんやご家族にメッセージ

A 病気は患者さん・ご家族にとって大きな出来事です。不安を少しでも軽減するために一番近くに寄り添って相談にのりたいと思います。気になったことがあればお気軽にお声掛けください。本人だけでなく、ご家族も一緒に1人ひとりにあった治療を一緒に考えていきましょう。

そこが知りたい

薬の管理で悩んでいる方へ

薬剤師の取り組み

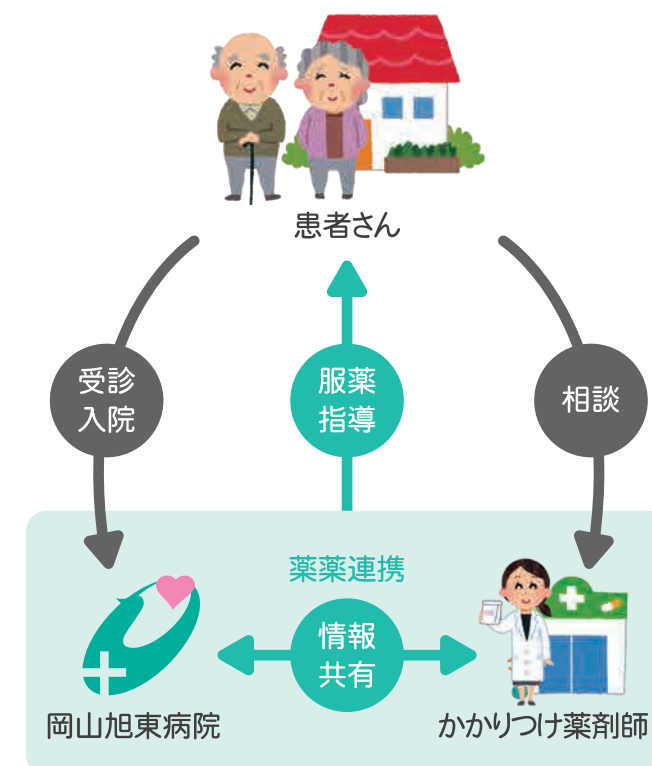
薬をたくさん飲んでいると、「複数の病院で処方された薬を自分で管理しきれない」「よく飲み忘れる」などの悩みも多いのではないのでしょうか。当院では入院時に、薬を正しく服用できるよう、一人ひとりに合わせた指導をおこなっています。薬剤師だけでなく、医師や看護師、リハビリスタッフなどと一緒に、薬の管理方法や飲み方、薬の種類や量などを、多面的に考え提案をしています。

薬薬連携をおこなっています

「薬薬連携」とは、地域の薬局と当院の薬剤師同士が患者さんの情報を共有し、通院・入院・在宅で、いつでも充実した医療や服薬指導を受けられるようサポートをする体制のことです。入院患者さんが、退院後自宅に帰っても困らないよう、ご家族に薬の管理を依頼することもあります。

「かかりつけ薬剤師」を決めておくと、重複の管理だけでなく自宅でお困りごとがあった時に気軽に相談ができ、必要に応じて、当院との情報共有が可能です。

薬薬連携のイメージ図



知っ得情報

皆様のご意見をお聞かせください

ご意見をもとに改善活動をおこないます

外来患者さん(7月、11月)と入院患者さん(退院時)にアンケートのご協力をいただいております。いただいたご意見をもとに、院内環境やシステムの改善をおこなっています。

院内各所に意見箱「患者様の声」も設置していますので、お困りごとやご提案など、お気軽にお寄せください。

◀ 意見箱「患者様の声」



患者さんのご意見から改善した事例



待ち時間がどのくらい知りたい

待合に案内カウンターを設置しました。待ち時間のお問い合わせなど、お困りごとがありましたら、お気軽にお声掛け下さい。



HPにてアンケート結果と改善内容を公開しています



ライフサプリ

食事で免疫力アップ

免疫とは？

体内で発生したガン細胞や、外から侵入した細菌やウイルスなどを常に監視し、撃退する自己防衛システムのことを免疫といいます。免疫力が下がると細菌やウイルスに負け、病気や感染症にかかりやすくなります。免疫力を高めて、病気や感染症に負けない強い体を作りましょう。



あなたの免疫力は大丈夫？

チェックしてみよう

- ☐ ストレスをよく感じる
- ☐ 笑うことがあまりない
- ☐ 寝不足なことが多い
- ☐ お風呂はシャワーで済ませることが多い
- ☐ 便秘や下痢をしやすい
- ☐ 風邪をひきやすい
- ☐ 朝食抜きの日が多い
- ☐ お菓子を毎日食べる
- ☐ ヨーグルト・納豆などの発酵食品が苦手
- ☐ 平熱が36℃以下である



3つ以上にチェックがついた人は
免疫力が下がっているかもしれません

免疫力を高める3つのポイント

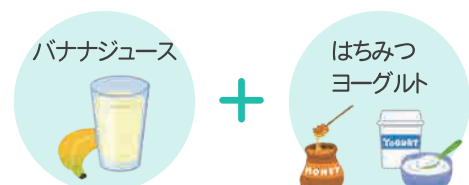
1. 腸内の善玉菌を増やす
2. ストレスや疲労をためない
3. 体温を上げる

食事で免疫力アップしよう

腸内に存在する善玉菌が減り、悪玉菌が増えると腸内環境のバランスが乱れ、免疫細胞の働きが低下してしまいます。普段のメニューに一工夫を加えて免疫力をアップしましょう。



オクラと長芋に含まれているネバネバ成分は、善玉菌を増やしてくれます。



バナナとはちみつは、善玉菌のえさとなる“オリゴ糖”を含み、さらに発酵食品であるヨーグルトを加えることで、腸が喜ぶ免疫力アップジュースに変わります。



アジやイワシに片栗粉とカレー粉をまぶして揚げ、お酢に漬けてカレー風味の南蛮漬けに！善玉菌を増やす効果のある青魚に、体を温める香辛料カレー粉、発酵食品であるお酢を加えたスパイシーかつ栄養満点メニューです。

体温アップの食材

体温が1℃下がると免疫力が約30%も低下するといわれています。唐辛子やキムチなどの香辛料、お酢や梅干し、にんにくや生姜などの食材で体温アップしましょう！



原尾島クリニック

白髭 勇一 院長

施設の特徴

平成8年に有床診療所として開院し「地域の人々に温もりのあるやさしい医療」を合言葉に職員全員で取り組んで26年が経過しました。内科、皮膚科、心療内科、整形外科の複数科を有し、しらひげ歯科も併設しております。内科は総合内科専門医、消化器病学会専門医、消化器内視鏡学会専門医が在籍し、胃・大腸内視鏡検査や治療を得意としております。皮膚科は女性皮膚科専門医が在籍し、ニキビ・アトピー性皮膚炎・水虫や床ずれなどの皮膚疾患全般について、治療やスキンケア方法までお悩みにお応えします。

通所リハビリテーション（デイケア）、通所介護（デイサービス）、居宅介護支援事業所も備え、患者様のニーズに自信をもって応えられます。

診療モットー

地域のかかりつけ医として常に患者の立場で考え、親切な対応を心がけています。診療に際しては、専門医であることを生かしたレベルの高い診療と心のこもった医療を実践します。



診療科目 内科・胃腸科・循環器科・呼吸器科
整形外科・リハビリ科・心療内科
皮膚科・アレルギー科

診療時間 午前 9:00～12:30
午後 15:00～18:00

	月	火	水	木	金	土
午前	○	○	○	○	○	○
午後	○	○	○	○	○	△

休 診 土曜午後 / 日曜 / 祝日

〒703-8235 岡山市中区原尾島3-8-16

☎ 086-271-3777 Fax: 086-272-5333

<https://haraosima-clinic.jp/>



◆公共交通機関をご利用の場合

バス「浜東・中区役所前」下車 徒歩6分
または「岡山市中区役所前」下車 徒歩6分
駐車場 24台